

「自己点検・評価書」・「基礎資料」正誤表

大学名：京都大学薬学部

■自己点検・評価書

	頁	行	誤	正
1			医学部（○）医学科 看護学部（○） <u>人間健康科学科</u> 保健医療学部（○） <u>人間健康科学科</u>	医学部（○）医学科、 <u>人間健康科学科</u> 看護学部（○） 保健医療学部（○）
2	13	下 7	（訪問時9「学士課程修了認定（卒業判定）資料」）	削除
3	14	下 10	訪問時1-10「協議会資料5：進路アンケート結果」	訪問時1-10「協議会資料5： <u>2020年度進路状況調査結果（学部）</u> 」
4	32	14・15	「特別実習」（ <u>10単位</u> ）	「特別実習」（ <u>14単位</u> ）
5	51	下 3	（資料8）	削除
6	54	11	2018年度 <u>86名</u> 、2019年度 <u>86名</u> 、 2020年度 <u>84名</u> 、2021年度 <u>84名</u>	2018年度 <u>80名</u> 、2019年度 <u>83名</u> 、 2020年度 <u>80名</u> 、2021年度 <u>81名</u>
7	58	23	専任教員数は29名（うち教授 <u>7名</u> ）	専任教員数は31名（うち教授 <u>9名</u> ）
8	58	27	教授 <u>29.2%</u> （7名）、准教授 <u>33.3%</u> （11名）、講師 <u>12.5%</u> （4名）、助教 <u>25.0%</u> （7名）であり、薬学部全体としての教授、准教授、講師、助教の比率はそれぞれ <u>29.5%</u> （13名）、 <u>29.5%</u> （13名）、 <u>11.4%</u> （5名）、 <u>29.5%</u> （13名）である。	教授 <u>29%</u> （9名）、准教授 <u>35.5%</u> （11名）、講師 <u>12.9%</u> （4名）、助教 <u>22.6%</u> （7名）であり、薬学部全体としての教授、准教授、講師、助教の比率はそれぞれ <u>30.4%</u> （14名）、 <u>32.6%</u> （15名）、 <u>10.9%</u> （5名）、 <u>26.1%</u> （12名）である。
9	64	24	<u>特定医療技術職員</u> 1名を配置して	<u>特定助教</u> 1名を配置して
10	68	下 11	（訪問時 32「薬学研究科各種委員会名簿 2021」）	削除
11	69	6	訪問時 1-10「協議会資料 5:進路アンケート結果」	訪問時 1-10「協議会資料 5： <u>2020年度進路状況調査結果（学部）</u> 」

■基礎資料

	資料 番号	頁	箇所	誤	正
1	4		2022 年度（2021 年度実 施）欄		データを追加
2	5		表 1.大学設置基準の対象となる 薬学科の専任教員	教授 7 名 合計 29 名	教授 9 名 合計 31 名
3	5		表 2.薬学科の教育研究に携わっ ている表 1. 以外の薬学部教員	兼業教員 23 名	兼業教員 21 名
4	6		専任教員の年齢構成、専任教員 の男女構成		データを修正
5	7		表 1. 薬学科（6 年制）専任教 員（基礎資料 5 の表 1）が担当 する授業科目と担当時間		2 名の教員のデー タを追加
6	7		表 3. 兼任教員（基礎資料 5 の 表 2）が担当する薬学科（6 年 制）の専門科目と担当時間		2 名の教員のデー タを削除
7	9				2 名の教員のデー タを追加
8	9				3 名の教員のデー タを修正
9	10		健康診断受診状況		データを追加

(基礎資料5) 教員・職員の数

表1. 大学設置基準(別表第1)の対象となる薬学科(6年制)の専任教員

教授	准教授	専任講師	助教	合計	基準数 ¹⁾
9名	11名	4名	7名	31名	22名
上記における臨床実務経験を有する者の内数					
教授	准教授	専任講師	助教	合計	必要数 ²⁾
0名	2名	1名	0名	3名	3名

- 1) 大学設置基準第13条別表第1のイ(表1)及び備考4に基づく数/別表2の教員は含まない
- 2) 上記基準数の6分の1(大学設置基準第13条別表第1のイ備考10)に相当する数

表2. 薬学科(6年制)の教育研究に携わっている表1.以外の薬学部教員

助手 ¹⁾	兼任教員 ²⁾
0名	21名

- 1) 学校教育法第92条⑨による教員として大学設置基準第10条2の教育業務及び研究に携わる常勤者
- 2) 4年制学科を併設する薬学部で、薬学科の専門教育を担当する4年制学科の専任教員

表3. 演習、実習、実験などの補助に当たる教員以外の者

TA	SA	その他 ¹⁾	合計
81名	0名	7名	88名

自己点検・評価を実施した年度の実績を記入

- 1) 実習などの補助を担当する臨時、契約職員など(無給は除く)

表4. 薬学部専任の職員

事務職員 ¹⁾	技能職員 ²⁾	その他 ³⁾	合計
12(5)名	6(2)名	3名	19(7)名

- 1) 薬学部の業務を専門に行う職員(非常勤を含む。ただし非常勤者数は()に内数で記入。複数学部の兼任は含まないこと。)
- 2) 薬用植物園や実験動物の管理、電気施設など保守管理に携わる職員
- 3) 司書、保健・看護職員など

(基礎資料6) 訂正版 (2022年10月24日提出)

(基礎資料6) 専任教員 (基礎資料5の表1) の年齢構成

	教授	准教授	専任講師	助教	合計	比率
70代	0名	0名	0名	0名	0名	0%
60代	4名	0名	0名	0名	4名	12.91%
50代	4名	5名	0名	0名	9名	29.03%
40代	1名	6名	2名	0名	9名	29.03%
30代	0名	0名	2名	7名	9名	29.03%
20代	0名	0名	0名	0名	0名	0%
合計	9名	11名	4名	7名	31名	100.0%

専任教員の定年年齢：(6.5歳)

(参考資料) 専任教員 (基礎資料5の表1) の男女構成

	教授	准教授	専任講師	助教	合計	比率
男性	9名	8名	4名	6名	27名	87.10%
女性	0名	3名	0名	1名	4名	12.90%

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料5の表1)が担当する授業科目と担当時間

学科 ¹⁾	職名 ²⁾	氏名	年齢	性別	学位称号	現職就任年月日	授業担当科目 ³⁾	授業時間 ⁴⁾	年間で平均した週当たり授業時間 ⁵⁾
薬学科 (兼薬科学科)							「薬の世界」入門	1.61	0.05
							物理化学Ⅳ(生物物理化学)	4.50	0.15
							分析化学Ⅰ(化学分析学)	22.50	0.75
							分析化学Ⅲ(機器分析化学)	11.25	0.38
							基礎科学演習	7.50	0.25
							早期専門研究体験	0.56	0.02
							専門研究導入演習A	0.56	0.02
							専門研究導入演習B	0.56	0.02
							薬局実務実習	◎ 112.50	3.75
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
							医療薬学実験技術	22.50	0.75
							学術情報論	22.50	0.75
							授業担当時間の合計	229.04	7.63
							薬学科 (兼薬科学科)		
分析化学Ⅲ(機器分析化学)	11.25	0.38							
薬学専門実習Ⅰ	◎ 11.25	0.38							
医療薬学ワークショップ	22.50	0.75							
医療薬学実験技術	22.50	0.75							
学術情報論	22.50	0.75							
授業担当時間の合計	94.50	3.15							
薬学科 (兼薬科学科)							「薬の世界」入門	1.61	0.05
							薬理学Ⅰ	22.50	0.75
							薬理学Ⅱ	22.50	0.75
							早期専門研究体験	0.56	0.02
							専門研究導入演習A	0.56	0.02
							専門研究導入演習B	0.56	0.02
							薬局実務実習	◎ 112.50	3.75
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
							医療薬学実験技術	22.50	0.75
							学術情報論	22.50	0.75
							授業担当時間の合計	228.29	7.61
薬学科 (兼薬科学科)							基礎化学実験	11.25	0.38
							薬理学Ⅲ	22.50	0.75
							基礎バイオインフォマティクス	11.25	0.38
							医薬品開発プロジェクト演習Ⅰ	5.63	0.19
							薬学専門実習Ⅲ	◎ 6.75	0.23
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
							医療薬学実験技術	22.50	0.75
							学術情報論	22.50	0.75
授業担当時間の合計	124.88	4.16							
薬学科 (兼薬科学科)							薬学専門実習Ⅲ	◎ 6.75	0.23
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
							医療薬学実験技術	22.50	0.75
							学術情報論	22.50	0.75
授業担当時間の合計	74.25	2.48							
薬学科 (兼薬科学科)							「薬の世界」入門	1.61	0.05
							衛生薬学Ⅰ(健康化学)	22.50	0.75
							衛生薬学Ⅱ(環境衛生学)	22.50	0.75
							早期専門研究体験	0.56	0.02
							専門研究導入演習A	0.56	0.02
							専門研究導入演習B	0.56	0.02
授業担当時間の合計	48.29	1.61							
薬学科 (兼薬科学科)							生物化学Ⅱ(代謝生化学)	22.50	0.75
							薬学専門実習Ⅳ	◎ 6.75	0.23
							授業担当時間の合計	29.25	0.98
薬学科 (兼薬科学科)							薬学専門実習Ⅳ	◎ 6.75	0.23
							授業担当時間の合計	6.75	0.23
薬学科 (兼薬科学科)							「薬の世界」入門	1.61	0.05
							分析化学Ⅱ(放射化学)	22.50	0.75
							分析化学Ⅳ(臨床分析学)	11.25	0.38
							早期専門研究体験	0.56	0.02
							専門研究導入演習A	0.56	0.02
							専門研究導入演習B	0.56	0.02
							薬局実務実習	◎ 112.50	3.75
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
							医療薬学実験技術	22.50	0.75
							学術情報論	22.50	0.75
							授業担当時間の合計	217.04	7.23
薬学科 (兼薬科学科)							分析化学Ⅳ(臨床分析学)	11.25	0.38
							薬学専門実習Ⅲ	◎ 6.75	0.23
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
							医療薬学実験技術	22.50	0.75
学術情報論	22.50	0.75							

		授業担当時間の合計	85.50	2.85
薬学科 (兼薬科学科)		薬学専門実習Ⅲ	◎ 6.75	0.23
		医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
		医療薬学実験技術	22.50	0.75
		学術情報論	22.50	0.75
		授業担当時間の合計	74.25	2.48
薬学科 (兼薬科学科)		「薬の世界」入門	1.61	0.05
		薬剤学Ⅱ(薬物動態学)	22.50	0.75
		早期専門研究体験	0.56	0.02
		専門研究導入演習A	0.56	0.02
		専門研究導入演習B	0.56	0.02
		医療実務事前学習	22.50	0.75
		薬局実務実習	◎ 112.50	3.75
		医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
		医療薬学実験技術	22.50	0.75
		学術情報論	22.50	0.75
		授業担当時間の合計	228.29	7.61
薬学科 (兼薬科学科)		薬剤学Ⅰ(製剤学)	22.50	0.75
		薬学専門実習Ⅲ	◎ 6.75	0.23
		医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
		医療薬学実験技術	22.50	0.75
		学術情報論	22.50	0.75
	授業担当時間の合計	96.75	3.23	
薬学科 (兼薬科学科)		基礎化学実験	11.25	0.38
		薬学専門実習Ⅲ	◎ 6.75	0.23
		医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
		医療薬学実験技術	22.50	0.75
		学術情報論	22.50	0.75
	授業担当時間の合計	85.50	2.85	
薬学科 (兼薬科学科)		「薬の世界」入門	1.61	0.05
		物理化学Ⅱ(電気化学・ナノ化学)	22.50	0.75
		物理化学Ⅳ(生物物理化学)	4.50	0.15
		早期専門研究体験	0.56	0.02
		専門研究導入演習A	0.56	0.02
		専門研究導入演習B	0.56	0.02
				0.00
		授業担当時間の合計	30.29	1.01
薬学科 (兼薬科学科)		基礎物理化学(熱力学)	22.50	0.75
		基礎化学実験	11.25	0.38
		物理化学Ⅳ(生物物理化学)	4.50	0.15
		基礎科学演習	7.50	0.25
		薬学専門実習Ⅰ	◎ 11.25	0.38
				0.00
		授業担当時間の合計	57.00	1.90
薬学科 (兼薬科学科)		薬学専門実習Ⅳ	◎ 6.75	0.23
				0.00
	授業担当時間の合計	6.75	0.23	
薬学科 (兼薬科学科)		薬用植物学	22.50	0.75
		天然物薬学Ⅲ(生薬学・漢方)	22.50	0.75
		早期専門研究体験	0.56	0.02
		専門研究導入演習A	0.56	0.02
		専門研究導入演習B	0.56	0.02
		薬学専門実習Ⅱ	◎ 6.75	0.23
		薬局実務実習	◎ 112.50	3.75
		医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
		医療薬学実験技術	22.50	0.75
		学術情報論	22.50	0.75
	授業担当時間の合計	233.43	7.78	
薬学科 (兼薬科学科)		情報基礎	22.50	0.75
		情報基礎演習	22.50	0.75
		生理学Ⅱ(病態生理学)	22.50	0.75
		早期専門研究体験	0.56	0.02
		専門研究導入演習A	0.56	0.02
		専門研究導入演習B	0.56	0.02
				0.00
	授業担当時間の合計	69.18	2.31	
薬学科 (兼薬科学科)		バイオ医薬製剤論	11.25	0.38
		薬局方・薬事関連法規	22.50	0.75
		医薬品開発プロジェクト演習Ⅰ	5.63	0.19
		薬学専門実習Ⅲ	◎ 6.75	0.23
		医療実務事前学習	22.50	0.75
		医療薬学ワークショップ	22.50	0.75
		医療薬学実験技術	22.50	0.75
		学術情報論	22.50	0.75
	授業担当時間の合計	136.13	4.54	
		「薬の世界」入門	1.61	0.05
		薬物治療学	22.50	0.75
		早期専門研究体験	0.56	0.02
		専門研究導入演習A	0.56	0.02

薬学科 (兼薬科学科)	専門研究導入演習B		0.56	0.02	
	病院実務実習	◎	112.50	3.75	
	医療薬学ワークショップ		22.50	0.75	
	医療薬学実験技術		22.50	0.75	
	学術情報論		22.50	0.75	
	授業担当時間の合計		205.79	6.86	
薬学科 (兼薬科学科)	天然物薬学Ⅰ(天然物化学)		22.50	0.75	
	薬学専門実習Ⅱ	◎	6.75	0.23	
	医療薬学ワークショップ		22.50	0.75	
	医療薬学実験技術		22.50	0.75	
	学術情報論		22.50	0.75	
授業担当時間の合計		96.75	3.23		
薬学科 (兼薬科学科)	創薬有機化学演習		4.50	0.15	
	薬学専門実習Ⅱ	◎	6.75	0.23	
	医療薬学ワークショップ		22.50	0.75	
	医療薬学実験技術		22.50	0.75	
	学術情報論		22.50	0.75	
授業担当時間の合計		78.75	2.63		
薬学科 (兼薬科学科)	生理学Ⅰ(基礎生理学)		11.25	0.38	
	薬学専門実習Ⅲ	◎	6.75	0.23	
	授業担当時間の合計		18.00	0.60	
薬学科 (兼薬科学科)	薬学専門実習Ⅲ	◎	6.75	0.23	
	授業担当時間の合計		6.75	0.23	
薬学科 (兼薬科学科)	「薬の世界」入門		1.61	0.05	
	ファーマコメトリス論		11.25	0.38	
	医療社会学		7.50	0.25	
	薬学研究S G D演習		5.63	0.19	
	基礎臨床研究		2.81	0.09	
	医薬品開発プロジェクト演習Ⅱ		2.81	0.09	
	多職種連携医療体験実習	◎	2.81	0.09	
	早期専門研究体験		0.56	0.02	
	専門研究導入演習A		0.56	0.02	
	専門研究導入演習B		0.56	0.02	
	医療実務事前学習		22.50	0.75	
	臨床薬学総論		22.50	0.75	
	薬局実務実習	◎	112.50	3.75	
	医療薬学ワークショップ		22.50	0.75	
	医療薬学実験技術		22.50	0.75	
	学術情報論		22.50	0.75	
	授業担当時間の合計		261.10	8.70	
	薬学科 (兼薬科学科)	地域医療薬学		11.25	0.38
		医療社会学		7.50	0.25
		薬学研究S G D演習		5.63	0.19
基礎臨床研究			2.81	0.09	
医薬品開発プロジェクト演習Ⅱ			2.81	0.09	
多職種連携医療体験実習		◎	2.81	0.09	
医療実務事前学習			22.50	0.75	
薬局実務実習		◎	112.50	3.75	
医療薬学ワークショップ			22.50	0.75	
医療薬学実験技術			22.50	0.75	
学術情報論			22.50	0.75	
授業担当時間の合計			235.31	7.84	
薬学科 (兼薬科学科)		地域医療薬学		11.25	0.38
	医療社会学		7.50	0.25	
	基礎臨床研究		2.81	0.09	
	医薬品開発プロジェクト演習Ⅱ		2.81	0.09	
	多職種連携医療体験実習	◎	2.81	0.09	
	医療実務事前学習		22.50	0.75	
	薬局実務実習	◎	112.50	3.75	
	医療薬学ワークショップ		22.50	0.75	
	学術情報論		22.50	0.75	
授業担当時間の合計		229.68	7.66		
薬学科 (兼薬科学科)	薬局実務実習	◎	112.50	3.75	
	病院実務実習	◎	112.50	3.75	
	医療薬学ワークショップ		22.50	0.75	
	医療薬学実験技術		22.50	0.75	
	学術情報論		22.50	0.75	
授業担当時間の合計		292.50	9.75		
薬学科 (兼薬科学科)	「薬の世界」入門		1.61	0.05	
	天然物薬学Ⅱ(ケミカルバイオロジー)		22.50	0.75	
	創薬有機化学演習		4.50	0.15	
	早期専門研究体験		0.56	0.02	
	専門研究導入演習A		0.56	0.02	
	専門研究導入演習B		0.56	0.02	
	薬局実務実習	◎	112.50	3.75	
	医療薬学ワークショップ		22.50	0.75	
	医療薬学実験技術		22.50	0.75	
	学術情報論		22.50	0.75	
	授業担当時間の合計		229.68	7.66	

薬学科 (兼業科学科)	授業担当時間の合計	210.29	7.01
	「薬の世界」入門	1.61	0.05
	生理学Ⅰ（基礎生理学）	11.25	0.38
	生理学Ⅲ（臨床生理学）	22.50	0.75
	早期専門研究体験	0.56	0.02
	専門研究導入演習A	0.56	0.02
	専門研究導入演習B	0.56	0.02
	授業担当時間の合計	37.04	1.23

- 1) 薬学科（6年制）専任教員のみが対象ですが、2学科制薬学部で4年制学科の兼任教員となっている場合は（兼任学科名）を付記してください。
- 2) 臨床における実務経験を有する専任教員には、職名に（実務）と付記してください。
- 3) 「授業担当科目」には、「卒業研究」の指導を除く全ての授業担当科目（兼担学科・兼任学科の科目、大学院の授業科目も含む）を記入し、実習科目は科目名の右欄に◎を、大学院科目は「院」の字を記入してください。
- 4) 「授業時間」には、当該教員がその科目で行う延べ授業時間を時間数を、以下に従ってご記入ください。
 ※講義科目は時間割から計算される実際の時間数（1コマ90分の授業15回担当すれば、 $90 \times 15 \div 60 = 22.5$ 時間）を記入します。
 ※複数教員で分担している場合は授業回数を分担回数とし、履修者が多いため同一科目を反復開講している場合は授業時間数に反復回数を乗じます。
 ※実習科目では、同一科目を複数教員（例えば、教授1名と助教、助手2名）が担当していても、常時共同で指導している場合は分担担当としません。
- 5) 「年間で平均した週当たり授業時間」には、総授業時間を「30」（授業が実施される1年間の基準週数）で除した値を記入してください。
 開講する週数が30週ではない大学でも、大学間の比較ができるよう「30」で除してください。

[注] 担当時間数などの記入については（基礎資料7）の表1の脚注に倣ってください。助手については、「授業担当時間の合計」の算出は不要です。

表3. 兼担教員（基礎資料5の表2）が担当する薬学科（6年制）の専門科目と担当時間

学科	職名	氏名	年齢	性別	学位	現職就任年月日	授業担当科目	総授業時間	年間で平均した週当り授業時間							
薬科学科							健康・生命科学入門	11.25	0.38							
							早期専門研究体験	0.56	0.02							
							専門研究導入演習A	0.56	0.02							
							専門研究導入演習B	0.56	0.02							
							薬局実務実習	◎ 112.50	3.75							
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75							
							医療薬学実験技術	22.50	0.75							
薬科学科							学術情報論	22.50	0.75							
							生物化学I（物質生化学）	22.50	0.75							
							薬学研究SGD演習	5.63	0.19							
							薬学専門実習IV	◎ 6.75	0.23							
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75							
							医療薬学実験技術	22.50	0.75							
							学術情報論	22.50	0.75							
薬科学科							健康・生命科学入門	11.25	0.38							
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75							
							医療薬学実験技術	22.50	0.75							
							学術情報論	22.50	0.75							
薬科学科							「薬の世界」入門	1.61	0.05							
							有機化学II	22.50	0.75							
							薬学研究SGD演習	5.63	0.19							
							基礎創薬研究	11.25	0.38							
							基礎臨床研究	2.81	0.09							
							早期専門研究体験	0.56	0.02							
							専門研究導入演習A	0.56	0.02							
							専門研究導入演習B	0.56	0.02							
							薬局実務実習	◎ 112.50	3.75							
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75							
							医療薬学実験技術	22.50	0.75							
							学術情報論	22.50	0.75							
							薬科学科							基礎有機化学I	22.50	0.75
														薬学専門実習II	◎ 6.75	0.23
医療薬学ワークショップ	22.50	0.75														
医療薬学実験技術	22.50	0.75														
学術情報論	22.50	0.75														
薬科学科							創薬有機化学演習	4.50	0.15							
							薬学専門実習II	◎ 6.75	0.23							
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75							
							医療薬学実験技術	22.50	0.75							
							学術情報論	22.50	0.75							
薬科学科							「薬の世界」入門	1.61	0.05							
							有機化学IV	22.50	0.75							
							早期専門研究体験	0.56	0.02							
							専門研究導入演習A	0.56	0.02							
							専門研究導入演習B	0.56	0.02							
							薬局実務実習	◎ 112.50	3.75							
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75							
							医療薬学実験技術	22.50	0.75							
学術情報論	22.50	0.75														
薬科学科							有機化学I	22.50	0.75							
							薬学専門実習II	◎ 6.75	0.23							
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75							
							医療薬学実験技術	22.50	0.75							
薬科学科							学術情報論	22.50	0.75							
							基礎化学実験	11.25	0.38							
							創薬有機化学演習	4.50	0.15							
							薬学専門実習II	◎ 6.75	0.23							
							医療薬学ワークショップ	22.50	0.75							
薬科学科							医療薬学実験技術	22.50	0.75							
							学術情報論	22.50	0.75							
							「薬の世界」入門	1.61	0.05							
							物理化学I（量子化学）	22.50	0.75							
							物理化学III（構造化学）	22.50	0.75							
							物理化学IV（生物物理化学）	4.50	0.15							
							基礎科学演習	7.50	0.25							
							早期専門研究体験	0.56	0.02							
							専門研究導入演習A	0.56	0.02							
							専門研究導入演習B	0.56	0.02							
薬科学科									0.00							
							薬学専門実習I	◎ 11.25	0.38							
薬科学科									0.00							
							薬学専門実習I	◎ 11.25	0.38							
薬科学科									0.00							
							基礎有機化学II	22.50	0.75							
							早期専門研究体験	0.56	0.02							
							専門研究導入演習A	0.56	0.02							

薬科学科	専門研究導入演習B		0.56	0.02
	薬局実務実習	◎	112.50	3.75
	医療薬学ワークショップ		22.50	0.75
	医療薬学実験技術		22.50	0.75
	学術情報論		22.50	0.75
薬科学科	医薬品化学		22.50	0.75
	薬学専門実習Ⅱ	◎	6.75	0.23
	医療薬学ワークショップ		22.50	0.75
	医療薬学実験技術		22.50	0.75
	学術情報論		22.50	0.75
薬科学科	創薬有機化学演習		4.50	0.15
	薬学専門実習Ⅱ	◎	6.75	0.23
	医療薬学ワークショップ		22.50	0.75
	医療薬学実験技術		22.50	0.75
	学術情報論		22.50	0.75
薬科学科	生物化学Ⅲ（分子生物学）		22.50	0.75
	早期専門研究体験		0.56	0.02
	専門研究導入演習A		0.56	0.02
	専門研究導入演習B		0.56	0.02
	生物化学Ⅵ（生理化学）		22.50	0.75
薬科学科	薬学専門実習Ⅳ	◎	6.75	0.23
	薬学専門実習Ⅳ	◎	6.75	0.23
薬科学科				0.00
	生物化学Ⅴ（細胞生物学）		7.50	0.25
	早期専門研究体験		0.56	0.02
	専門研究導入演習A		0.56	0.02
	専門研究導入演習B		0.56	0.02
薬科学科	生物化学Ⅴ（細胞生物学）		7.50	0.25
	薬学専門実習Ⅳ	◎	6.75	0.23
薬科学科	生物化学Ⅴ（細胞生物学）		7.50	0.25
				0.00

[注] 担当時間数などの記入については（基礎資料7）の表1の脚注に倣ってください。兼任教員については、「授業担当時間の合計」の算出は不要です。

(基礎資料9) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧				
大学名：京都大学	講座名	薬品動態制御学分野	職名 准教授	氏名 樋口ゆり子
I 教育活動				
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要	
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		2017年4月～ 2020年4月～ 2021年4月～	講義資料の一部を穴埋めにして集中力が途切れないように工夫している 講義の中で資料(日本薬局方)を使って学生同士で相談しながら調べることで理解を深める演習を取り入れている テーブルの枠組みを作成して配布し、学生が講義や自習を通してテーブルを埋める課題を出すことで、情報を整理理解を深める工夫をしている。	
2 作成した教科書、教材、参考書		2017年4月～	講義資料は、全て自作し、論文のほか、医薬品の売上高など最新の情報を反映させている。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		2021年6月2日	Yuriko Higuchi, Work with students to understand the terms equity, diversity and inclusion and to acknowledge the importance of these concepts in scientific research, Pharmaceutical Sciences in a Pandemic World (Canadian Society for Pharmaceutical Sciences (CSPS), The Pharmaceutical Society of Japan (PSJ), Canadian Chapter of Controlled Release Society (CC-CRS))	
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)		2017年4月～ 2017年4月～	OSCEの事前学習で水剤の指導を担当している OSCEでステーション責任者を務めている	
II 研究活動				
1. 著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌(巻・号数)等の名称	
In vitro cellular gene delivery employing a novel composite material of single-walled carbon nanotubes associated with designed peptides with pegylation	共著	2017年3月	Journal of Pharmaceutical Sciences 106(3) 792-802 (2017)	
Synthesis and functional characterization of novel sialyl lewisX mimic-decorated liposomes for E-selectin-mediated targeting to inflamed endothelial cells	共著	2017年5月	Molecular Pharmaceutics 14(5) 1528-1537 (2017)	
Development of mK02 fusion proteins for real-time imaging and mechanistic investigation of the degradation kinetics of human I κ B α in living cells	共著	2018年10月	Biochim Biophys Acta (BBA) - Mol Cell Res. 1866(2) 190-198. (2018)	
Novel E-selectin-targeting liposomes deliver everolimus to E-selectin expressing Sialyl LewisX mimic-decorated liposomes for anti-angiogenic everolimus delivery to E-selectin expressing	共著	2019年7月	RSC Adv., 9, 20518-20527 (2019)	
PD-L1/L2 protein levels rapidly increase on monocytes via trococyctosis from tumor cells in classical Hodgkin lymphoma	共著	2020年2月	Leukemia, 34, 2405-2417 (2020)	
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名	
Cell surface modification with peptide ligand or proteins via PEG-DSPE.		2017年1月	International Regenerative Engineering Symposium.	
顕微鏡を利用した細胞の体内動態追跡		2017年7月	第33回日本DDS学会学術集会	
Improvement cell-cell adhesion by cell surface modification with ligand molecule via PEG-lipid		2018年6月	Finland-Japan Workshop The next generation medical engineering in biomaterials	
細胞膜表面へのリガンド分子導入 - 細胞の機能を生体内で制御したい! -		2019年3月	第69回医用高分子研究会	
Enhancement of cell-cell interaction by chemical modification of cell membrane with ligands.		2019年11月	Okinawa colloids 2019 Division of Colloid and Surface Chemistry The Chemical Society of Japan	
Intelligent living cell (iL-Cell) ~ 究極の個別化医療の実現 ~		2021年6月	第60回日本生体医工学会大会	
III 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)				
2013年1月～現在	日本バイオイメージング学会 評議員			
2016年8月～現在	日本薬剤学会 評議員			
2018年8月～2020年7月	文科省 学術調査官			
2018年1月～現在	日本DDS学会 評議員			
2005年11月～現在	日本薬学会会員※			

[注] 1 対象期限: 評価対象年度を含む直近5年間の教育活動、研究活動等。論文は *in press* を含む。

各教員ごとに記載してください。学内の対象期限を決めて上に記入してください。

2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。

3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください(年度ごとに代表的なもの2件まで)。

4 「II 研究活動」は、直近5年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。

5 「III 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。

※ 「III 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会名の記載も可。

※ 該当する記入事項がない場合は「なし」と記入してください。

(基礎資料9) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧			
大学名：京都大学	講座名 創発医薬科学	職名 教授	氏名 木村郁夫
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			なし
2 作成した教科書、教材、参考書			なし
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			なし
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)			なし
II 研究活動			
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・ 号数)等の名称
(論文) <i>Dietary medium-chain triglyceride decanoate affects glucose homeostasis through GPR84-mediated GLP-1 secretion in mice.</i>	共著	2022年3月	frontiers出版, <i>Front Nutr.</i> 9, 848450
(論文) <i>Commensal microbe-derived acetate suppresses NAFLD/NASH development via hepatic FFAR2 signalling in mice.</i>	共著	2021年9月	BMC出版, <i>Microbiome.</i> 9, 188
(論文) <i>Acetate differentially regulates IgA reactivity to commensal bacteria.</i>	共著	2021年7月	Nature出版, <i>Nature.</i> 595, 560-564
(論文) <i>Gut microbial short-chain fatty acids-mediated olfactory receptor 78 stimulation promotes anorexigenic gut hormone peptide YY secretion in mice.</i>	共著	2021年6月	Elsevier出版, <i>Biochem Biophys Res Commun.</i> 557, 48-54
(論文) <i>Importance of intestinal environment and cellular plasticity of islets in the development of postpancreatectomy diabetes.</i>	共著	2021年4月	American Diabetes Association, <i>Diabetes Care.</i> 44, 1002-1011
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名
(演題名) 腸内細菌による糖代謝と宿主肥満「肥満症における腸管の意義」		2022年3月	第42回 日本肥満学会・第39回 日本肥満症治療
(演題名) ケトジェニック環境下における短鎖脂肪酸受容体の役割「腸管による代謝調節と糖尿病」		2021年5月	第64回日本糖尿病学会年次学術集会
III 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)			
		なし	
...			
...			

- [注] 1 対象期限：評価対象年度を含む直近5年間の教育活動、研究活動等。論文は *in press* を含む。
各教員ごとに記載してください。学内の対象期限を決めて上に記入してください。
- 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
- 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください(年度ごとに代表的なもの2件まで)。
- 4 「II 研究活動」は、直近5年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「III 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※ 「III 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会名の記載も可。
- ※ 該当する記入事項がない場合は「なし」と記入してください。

(基礎資料9) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧			
大学名：京都大学	講座名：病態機能分析学	職名：助教	氏名：飯國 慎平
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			
2 作成した教科書、教材、参考書			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)			
II 研究活動			
1. 著書・論文等の名称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・ 号数)等の名称
(論文) Cancer radiotheranostics targeting carbonic anhydrase-IX with ¹¹¹ In- and ⁹⁰ Y-labeled ureidosulfonamide scaffold for SPECT imaging and radionuclide-based therapy	共著	2018年4月	Theranostics 8(11) 2992-3006 (2018)
(論文) Development of ^{99m} Tc-Hydroxamate Complex as Probe Targeting Carbonic Anhydrase IX	共著	2019年3月	Mol. Pharm. 16(4) 1489-1497 (2019)
(論文) Synthesis and Evaluation of Indium-111-labeled Imidazothiadiazole Sulfonamide Derivative for Single Photon Emission Computed Tomography Imaging Targeting Carbonic Anhydrase-IX	共著	2020年5月	Bioorg. Med. Chem. Lett. 30(14) 127255 (2020)
(論文) PET Imaging and Pharmacological Therapy Targeting Carbonic Anhydrase-IX High-expressing Tumors Using US2 Platform Based on Bivalent Ureidosulfonamide	共著	同 年12月	PLoS One. 15(12) e0243327 (2020)
(論文) Modulation of pharmacokinetics of radioligand targeting carbonic anhydrase-IX utilizing albumin-binding moiety	共著	2021年1月	Mol. Pharm. 18(3) 966-975 (2021)
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名
(演題名) 腎集積低減を目指した新規 ¹¹¹ In標識GLP-1受容体イメージングプローブの開発		2021年11月	第61回日本核医学会学術総会
(演題名) ○○○○			
III 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)			

- [注] 1 対象期限：評価対象年度を含む直近5年間の教育活動、研究活動等。論文は *in press* を含む。
各教員ごとに記載してください。学内の対象期限を決めて上に記入してください。
- 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
- 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください(年度ごとに代表的なもの2件まで)。
- 4 「II 研究活動」は、直近5年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「III 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※ 「III 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会名の記載も可。
- ※ 該当する記入事項がない場合は「なし」と記入してください。

(基礎資料9) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧							
大学名	京都大学	講座名	薬理ゲノミクス分野	職名	准教授	氏名	平澤 明
I 教育活動							
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要				
1	教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
2	作成した教科書、教材、参考書 カッツング薬理学エッセンシャル 原書12版 (翻訳分担)	2021年8月1日	薬理学教科書の翻訳を分担した。				
3	教育方法・教育実践に関する発表、講演等 なし						
4	その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)						
II 研究活動							
1. 著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌(巻・号数)等の名称				
Medium-chain triglycerides inhibit long-chain triglyceride-induced GIP secretion through GPR120-dependent inhibition of CCK	共著	2021年9月	iScience vol 24				
A peripheral lipid sensor GPR120 remotely contributes to suppression of P6D 2-microglia-provoked neuroinflammation and neurodegeneration in the mouse hippocampus	共著	2021年12月	J Neuroinflammation vol 18 No 1				
FFAR1/GPR40 Contributes to the Regulation of Striatal Monoamine Releases and Facilitation of Cocaine-Induced Locomotor Activity in Mice	共著	2021年8月	Front Pharmacol vol 12				
FFAR1/GPR40 Contributes to the Regulation of Striatal Monoamine Releases and Facilitation of Cocaine-Induced Locomotor Activity in Mice	共著	2021年8月	Front Pharmacol vol 12				
In vivo emergence of beige-like fat in chickens as physiological adaptation to cold environments	共著	2021年3月	Mito acids vol 53 No 3				
Molecular Mechanism of Apoptosis by Amyloid β -Protein Fibrils Formed on Neuronal Cells	共著	2020年3月	ACS Chemical Neuroscience vol 11 No 5				
Identification and functional characterisation of N-linked glycosylation of the orphan G protein-coupled receptor Gpr176	共著	2020年3月	Scientific Reports vol 10				
Structural insights for producing $CK2\alpha 1$ -specific inhibitors.	共著	2020年1月	Bioorganic & medicinal chemistry letters vol 30				
Stimulation of insulin secretion by acetylenic fatty acids in insulinoma MIN6 cells through FFAR1	共著	2019年11月	Biochemical and biophysical research communications vol 522				
Free fatty acid receptors, G protein-coupled receptor 120 and G protein-coupled receptor 40, are essential for oil-induced gastric inhibitory polypeptide secretion.	共著	2019年11月	Journal of diabetes investigation vol 10				
Complex formation between the vasopressin 1b receptor, β -arrestin-2, and the μ -opioid receptor underlies morphine tolerance.	共著	2018年6月	Nature neuroscience vol 21				
DHA supplementation prevent the progression of NASH via GPR120 signaling	共著	2018年2月	European Journal of Pharmacology vol 820				
The Deletion of GPR40/FFAR1 Signaling Damages Maternal Care and Emotional Function in Female Mice	共著	2017年8月	BIOLOGICAL & PHARMACEUTICAL BULLETIN vol 40				
Dysfunctional GPR40/FFAR1 signaling exacerbates pain behavior in mice	共著	2017年7月	PLOS ONE vol 12				
Fatty acid 16:4(n-3) stimulates a GPR120-induced signaling cascade in splenic macrophages to promote chemotherapy resistance	共著	2017年5月	FASEB JOURNAL vol 31				
Long-Chain Free Fatty Acid Receptor GPR120 Mediates Oil-Induced GIP Secretion Through CCK in Male Mice	共著	2017年5月	ENDOCRINOLOGY vol 158				
Effects of arachidonic acid on FFA4 receptor: Signaling, phosphorylation and internalization	共著	2017年2月	PROSTAGLANDIN LEUKOTRIENES AND ESSENTIAL FATTY ACIDS vol 117				
Treatment of intermittent hypoxia increases phosphorylated tau in the hippocampus via biological processes common to aging	共著	2017年1月	MOLECULAR BRAIN vol 10				
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名				
なし							
III 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)							

- [注] 1 対象期限: 評価対象年度を含む直近5年間の教育活動、研究活動等。論文は *in press* を含む。
各教員ごとに記載してください。学内の対象期限を決めて上に記入してください。
- 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
- 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください(年度ごとに代表的なもの2件まで)。
- 4 「II 研究活動」は、直近5年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「III 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※ 「III 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会名の記載も可。
※ 該当する記入事項がない場合は「なし」と記入してください。

(基礎資料9) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧			
大学名：京都大学	講座名	職名	氏名 有地 法人
I 教育活動 ケモケノミクス・薬品有機製造学分野 助教			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		2021年6月 2021年6月	創薬有機化学演習にて、医薬品の化学合成プロセスについての教育を行った。 薬学専門実習IIIにおいて、有機化学実験に必要な基本操作並びに安全に関する教育を行った。
2 作成した教科書、教材、参考書		2021年6月	創薬有機化学演習にて、これまでに開発された医薬品の合成を例に、実践的な有機化学を学べる教材を作成した。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし	
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)		なし	
II 研究活動			
1. 著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称
Synthesis and biological evaluation of steroidal derivatives bearing a small ring as vitamin D receptor agonists	共著	2017年	ELSEVIER, Bioorg. Med. Chem. Lett. 2017, 27, 3408.
2. 学会発表 (評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名
なし			
III 学会および社会における主な活動 (直近5年間に携わったもの数件)			
2017年4月～現在	日本薬学会会員		
2021年4月～現在	有機合成化学協会会員		

- [注] 1 対象期限：評価対象年度を含む直近5年間の教育活動、研究活動等。論文は *in press* を含む。
各教員ごとに記載してください。学内の対象期限を決めて上に記入してください。
- 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
- 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください (年度ごとに代表的なもの2件まで)。
- 4 「II 研究活動」は、直近5年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「III 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※ 「III 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会名の記載も可。
- ※ 該当する記入事項がない場合は「なし」と記入してください。

(基礎資料10) 学生の健康管理

表1. 評価対象年度の定期健康診断受診率

学年	在学者数	受診者数	受診率 (%)
1年	84	84	100.0%
2年	84	82	97.6%
3年	87	77	88.5%
4年	15	15	100.0%
5年	29	15	51.7%
6年	37	28	75.7%

表2. 評価対象年度の5年生の実務実習前の抗体検査の実施状況

検査対象抗体	抗体価が十分高かった 学生数	抗体価が不十分なためワク チン接種をした学生数 ¹⁾
風疹	12	13
麻疹	11	14
水痘	23	2
ムンプス	8	17
B型肝炎	0	25

[注] 1) 4年次12月末までに、ワクチン接種した学生数（確認できた人数）を記入してください。
確認できない場合は、左欄のみ記入してください。